

2017年号

2017年4月発行(年1回発行)

発行元:おかや音楽協会



おかや音楽協会情報誌

MUSE

～みんなで紡ごう 音の絹糸～

第四回 創作オペラ 『御柱』

台本・作曲

中村 透

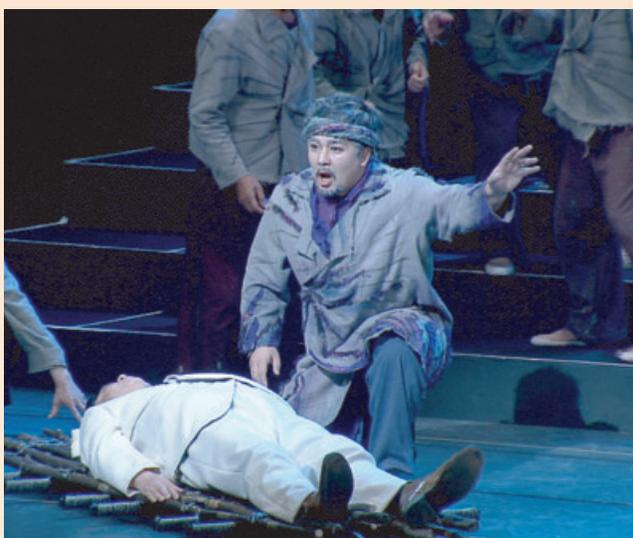
初回から十八年経ち四回目のオペラ「御柱」です。当初はホールの自主事業としては厳しい状況にあり、中止するか若しくは最小限の演奏会形式のオペラ「御柱」ということで考えておりましたが、「この作品は六年毎の御柱年に必ず続けていかなければ、培われてきた文化の継承はできない」という市民の強い思いが、市長を始め行政の文化事業に携わる方々や多くの文化人の共感を得て、本格的な「グランドオペラ形式」にすることができました。

神代の時代から諏訪のご先祖である守也（守矢・モリヤ）さまは、南アルプス北端の標高二六五〇米の守屋山を聖なる山としてあがめ、山に宿るミシヤグジ（御石神のち御社宮司）さまを神として祀り、その麓の扇状

地に住み、諏訪湖の周囲に広がる諏訪の盆地を拠点に周囲一円を広く治

めていました。人々は、守矢の当主を生き神さまとしてあがめ、鹿や猪を追い、魚を捕り、草の根を起こし、木の実を拾って平和に暮らしていました。

そこに現れたのが建御名方命（たけみなかたのみこと）。『古事記』や『先代旧事本紀』によると父である大国主命（おおくにぬしのみこと）の国譲りに反対して、兄である建御雷神（たけみかづち）によって出雲を追われ、科野国（信濃国）の州羽の海（諏訪湖）まで追いつめられました。建御名方神は逃げきれないと悟り、「この地から出ないし、大国主神や事代主神が言った通りだ。葦原の国は神子に奉るから殺さないでくれ」と命乞いをしました。命を救われた建御名方命は守矢（以下モリヤ）との闘いの後、諏訪を平定し、諏訪神社の神となったとありますが、ある日突然、モリヤが





治めるスワの地に強力なイズモの軍勢が侵入してきた時のスワびとの驚きと恐怖はいかばかりかと察します。モリヤたちはこの侵入者を食い止めようと全力を尽くしましたが及ばず、ついにスワの地はイズモの支配するところとなってしまいました。しかし、イズモの建御名方命は政治の支配者にはなりませんが、この土地に暮らす縄文の伝統を保ち続けていたスワの人々の心まで支配することはできませんでした。その精神的なものを握るのは、政治的に敗北したはずのモリヤの系譜につながる八坂刀売神（やさかとめのかみ）でした。建御名方命と八坂刀売神は夫婦となり、そのためスワの信仰そのものが、中央で発達した出雲の神道とはおおよそ体質の異なる「縄文的神道」としての野生を保ち続けることになったのです。イズモから追われた者と、モリヤはともに敗北したもの同士として共生しながら、この地に独特なスワ信仰を到達させたのです。それによりこの地に諏訪神社を中心とする巨大な信仰圏が形成されたのです。





この辺りの神代と史実の分岐点を見事にオペラ化したのがオペラ『御柱』です。北海道で生まれ、国立音楽大学卒業後、沖縄で二十年以上生活して来た中村透先生が、日本のほぼ真ん中にあるスワの地で「御柱」のオペラを書き上げたというのは、全国に二万余社あるという諏訪神社の不思議な縁によるものなのではないでしょうか。

彼はシナリオ作りに四年の歳月をかけ、ここスワの地のだれよりも「御柱」のことに精通したといえます。そして余所者(よそもの)である視点から、地元スワ人には見えないことや聞こえないことも知りつつ曲を書き上げたのです。

ノンフィクション作家である神山典士氏のオペラ取材に対し先生曰く「諏訪湖の周囲の峠に登っていると恐怖を感じます。谷間は暗くて誰かがついてくるような感じがする。逆に峠に出ると急に明るくなつて時間の感覚がわからなくなる。昔の人はこういう感覚から人さらいの伝説を創っていったんだろうなと身体的に理解できるんです。地元の人々の生活に入って突き抜けて、向こう側から逆照射する。そういう作業を続けて行くと物語が「来る」瞬間があるんです。書かざるを得ない所までモチベーションを高めない」と、いい物語は書けないと思います」と。

彼がつねに考えていたのは、このスワの地に生きている人の感覚を「肉化」することでした。オペラ「御柱」が単にスワの神話をオペラ化したというにとどまらず、日本中に知れ渡り発展することを切望してやみません。第四回公演の実行委員の一員としてオペラ「御柱」に携わることができたことを誇りに思います。

佐原 武



写真提供：中部クリエイティブ様・スペースフォト様



おかや音楽さんぽ

「チャーニー」カホン製作工房にて



こんにちは！ 竹内守です！

これは私が製作したカホンです。
カホンを使う人との関係が広がることに手応えを感じています。カホンは音の楽しさが詰まった箱。使う人に喜んでもらえる楽器を作りたいですね。

私は
忙しいから！

なんて…言っていたのに
いつの間にか
カホン演奏でこの笑顔



竹内さんは趣味でギターも弾きます。弟さんと友達と3人でライブもします。これらは竹内さんのギター！

インターネットで打楽器を検索しているうちにカホンを演奏する映像が目にとまりました。そのカホンを製作している工房が岡谷の大栄町にあることを知り、早速訪ねてみました。ありましたーありましたー「チャーニー」と書かれた看板を見つけ胸を躍らせ入らせていただきました。

ところが、なんと先客がお二人いらっしやる。そのお客さんはカホン関係かと思いきや、〇〇保育園保護者の若いクラ理事事さんとお友達とか。卒園児の卒園記念フォトフレームを竹内さんにご注文されて、頂きに来たとのこと。それは木製のとても素敵な、温かみのあるフォトフレームでした。何やら竹内さんが器用な方で、こんな木工作品も楽しんで作られるので、注文がくるのだそうです。

この工房は以前の工房が手狭になってしまったので、新しい所に引っ越したいと探していたところ、以前工場だったこの場所が借りられ、大工もされている竹内さん自身がカホン製作のために改造したとのこと。事務所兼カホン等展示の部屋・製作所・キッチン・トイレ全てが温かい雰囲気を出し、魅力的な工房の中でカホン製作が行われていました。

さて、音楽の話をしているうち「この工房で何か演奏したら良い音が鳴りそう」と天井を見上げていましたら「私、アルパが車の中にある」と先客の友達がおっしゃるではありませんか。「えっ！今ここで演奏して欲しいなあ」と冗談に言ったところ…それが本当になったのであります。



中島みゆきの「糸」を演奏してくださいました。
カホンとアルパで工房は素晴らしい響きに包まれました。
偶然生まれた素晴らしい時間に感謝！

打楽器カホンの魅力は？



そもそも「カホン」ってどっついった楽器なの？

カホンとはスペイン語で「箱」という意味。

楽器にまたがって叩く演奏スタイルのもの。

もともとはペルー発祥の楽器。黒人の奴隷の人たちが、楽器が持てないのでそこら辺の箱を叩いてリズム遊びをして楽しんでた。というのが始まりだと言われている楽器だそうです。もともと楽しむための道具だったようなので、カホンで楽しんでもらえれば良いと思って作っています。

打楽器は叩けば必ず音がでる良さがある。その中でカホンは叩く場所や叩き方により、いろいろな音がでるといった表現力豊かな楽器である。

学校等でもカホンを使って音やリズムを楽しむことが広まっている。その自由に音を楽しんでいる姿をみると、表現力や感性を豊かにする楽器だと感じ、嬉しくなります。

最近、学校では自分たちでカホンを作り、そのカホンを使って曲を作り、演奏して多くの人々に楽しんでてもらっているといった話も聞きました。

カホンの人気は？そしてこれから…… 【チャーニー】というの？

弟のあだ名「チャー」の兄（アニ）でチャーニーです。ドラムやカホンを叩く弟チャーのカホンを作ったのがきっかけです

CHAANY

「カホンのすそ野を広げる活動をしながら、良い音、良い響きを生み出す材質、楽器構造、叩き心地、外觀にもこだわっています。作りだして5年が経ちます。現在では全国の楽器店でも販売されるようになりまして、岡谷市ふるさと納税返礼品としても扱っていただいています。年間200台以上売れるようになりました。

これからも楽器に触ったことがない人には音と触れ合う楽しさをお伝えし、プロの演奏家にも最高の音を提供していきたいと思っています。



粉じんマスクと防護マスクを着用してカホンの木を削っていく



たくさんのカホンが並ぶ棚 ♥



ここはトイレ！カホンのような物入れが可愛い♥

3月4月 公演の夏木マリ演出、印象派NEO「ふしぎの国の白雪姫」があります。その舞台上で使われる楽器の製作に携わられたようです。楽しみですね。

コラム カノン ⑦

会長 林新一郎

二月末と三月初旬、二週連続で東京出張の折、吉江忠男先生と偶然、特急あずさの同じ車両でお逢いしました。

先生は六月二十五日島根県をスタートし、十二月の秋田県でのコンサートで合計十七回佐藤しのぶ氏の

全国コンサートにゲスト出演をされるので、毎週東京ヘッスンにお出掛けになられていらつしやるそうです。とても七十六歳とは思えないエネルギーな音楽活動をされておられました。

特に私は第四回のオペラ「御柱」に関して、先生がどのように評価しておられるか興味がありました。オペラ「御柱」開演当日も短時間ではありましたが、感想をお聴きすることができましたし、今回のあずさの車中でも充分にお聞かせいただくことができました。

地方オペラは四回続くことはほとんど稀で、行政をはじめ、スタッフ、事務方、出演者、そして優秀な指導者が揃っていないと進んでいくものではないとの主旨をおっしゃっておられました。

第四回のオペラ「御柱」開催の決定が紆余曲折し難航した理由は、一に経済面の事情で行き詰ってしまったことです。が、開催が危うくなりかけた時、大勢の熱心な関係者の強い意志で、どんな形式でも実行し、次世代に伝えていきたいとの働きかけがありました。取り敢えずコンサート形式で実行することになりましたが、至誠天に通ずると申しますか、資金的に応援してくださる企業や個人の方が大勢出だててきました。

この時点で単なるコンサート形式のオペラから演出をともなった

本格的なオペラ「御柱」の実演に向けての動きになってまいりました。目指すところが決まり、指導者も出演者も一丸となり、練習に取り組み、感動の公演となりました。

私はオペラ「御柱」は四回目にして岡谷オペラとしての形が出来上がってきたと感慨を深くし、第一回に市長として関わった者としてホットとした気持ちと同時に、このポテンシャルをさらに維持していくことの大変さを感じております。

指導者と出演者の熱意があるかぎり、必ずやハイレベルの地方オペラへと進化し、岡谷の音楽文化として定着していくものと期待します。



第四回



第三回



第二回



第一回

平成26年度 おかや音楽協会活動報告

- ・ 総会、交流会 5月21日(土) 諏訪湖ハイツ 歌いつこう! 日本のうた(歌魂講座)
- ・ 5月29日(日)・7月31日(日)・9月4日(日) 11月12日(日)・1月15日(日)・3月12日(日) 岡谷市放課後子ども居場所づくり事業での歌の集い
- ・ カノラ少年少女合唱団とともに、130人ほどの参加者全員で小ホールに歌い継ぎたい日本の歌を響かせました
- ・ 川岸小学校とちっこひろば 上の原小学校うえのはらっぱ いちい学級・輝く子育て支援学級
- ・ 諏訪の長い夜① 岡谷美術考古館コンサート 8月28日(金) アンサンブルスワン(川岸女声コーラス有志) ハーモニカ21
- ・ 大塚雄一(アコーディオン演奏)
- ・ 諏訪の長い夜② 岡谷美術考古館コンサート 7月17日(日) 紙で作るアコーディオン「ペパニカ」講座
- ・ おかや音楽協会5周年記念イベント 10月4日(日) 「秋の夜長におしゃべりと音楽を」ファイブペニーズにて 音協会員 大塚雄一さんのアコーディオン演奏を楽しみながら おしゃべりとお食事を楽しみました
- ・ おかやフェスタ 10月22日(土) (市民音楽祭PR活動) まちなかコンサート メイン会場
- ・ 上の原小学校音楽クラブ(吹奏楽) こちゃませウインドオーケストラ
- ・ 諏訪湖マラソン応援隊 10月23日(日) 諏訪湖ハイツ湖畔
- ・ 第72回岡谷市民音楽祭 11月3日(火) カノラホール
- ・ 出演団体 31団体 今年度は試みとして3部制をとりいれました 千百名の出演者と八百名のお客様、千九百名参加のイベントでした、



歌いつこう! 日本のうた (歌魂講座)



岡谷美術考古館コンサート ハーモニカ21



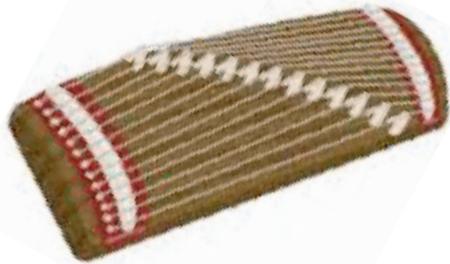
第5回 親子deわくわくコンサート

- ・ おかや音楽協会5周年を記念して、ファンファーレを作曲依頼。音楽祭をファンファーレで始めました
- ・ おかや音楽協会5周年記念イベント 11月3日(火) [The Power Of Music] レイクウオーク
- ・ 音協会員だけでなく広く出演者を募りました
- ・ 出演団体 カノラータ・アンサンブル 岡谷北部中学校吹奏楽部 ウィンズ♪ファミリアすわ&はっぴー♥まみ〜ず
- ・ 東海大学付属諏訪高等学校吹奏楽部 龍胡堂 ココペリ
- ・ カルチャーセンター ホリディスクエア
- ・ 歌魂クリスマスコンサート 12月18日(日) 出演団体 おかや音楽協会歌魂バンド 歌い人ごんべ有志 音協会員有志 他
- ・ 音協共催事業 諏訪湖ハイツ 12月18日(日) ラララ・カンガルー ♪第5回親子deわくわくコンサート♪ 大会議室いっぱい親子で、楽しいコンサートとなりました
- ・ 音協協力事業 11月27日(日) オペラ御柱 (カノラホールにて上演) への協力

ミュージアのたまご



絹のまち岡谷 和楽器こども教室



十一月三日岡谷市民音楽祭。カノラホールに着物姿の子供たちの和楽器の音が響いた。
今、思い出しても胸が高鳴る。
「平成二十八年年度 文化庁伝統文化親子教室事業」として、「絹のまち岡谷 和楽器こども教室」が選ばれた。毎年、華道などは行われていたが音楽としては初めての開催である。
箏(こ)・三味線の絃はもともと「絹」で演奏されていた。岡谷市での開催だからこそ意味のある事業にした

かつたので、子供たちに和楽器を伝えていくキーワードを「絹」にした。
岡谷市内在住の小学校四年生〜中学校三年生の計十六名の子供たちが参加してくれた。

六月、初回の開催場所は「岡谷蚕糸博物館」。まずは職員の方に館内を案内して頂き、絹の歴史や繭から絹糸になる様子を学んだ。そのあと、今ではほとんど使用されない「絹の絃」を張った箏の演奏を聴いてもらった。

一回目以降は実際に和楽器に触れる時間だ。今回、箏・三味線・尺八・篠笛の中から自分が学びたい和楽器を選び、その楽器で発表会に参加しようとした。

月に一〜二回しかない練習時間の中で、自分が興味をもった楽器を一生懸命練習してくれた。

当日の演奏する曲を「こどもの世界」にした。和楽器で誰もが知っている曲を演奏することで、聴いていただく皆さんにも楽しんでもらうためだ。

先にも書いたが今回の事業のキーワードは「絹」。子供たちには着物を着て演奏してもらいたいと、講師や

知り合いから着物を借りた。沢山の鮮やかな美しい着物や帯。女の子たちは当日着る着物を嬉しそうに選んだ。男の子たちは黒紋付でかつこよく。

そして迎えた市民音楽祭当日。髪を結び、きれいに着物をきた子供たち。舞台の大きさに緊張しつつも、出番前にはみんなで「楽しんで演奏しよう！」と笑顔になった。

もしも和楽器がリコーダーやピアノのように普通に音楽の授業で行われていたら…と考える事がある。

今回の和楽器を体験した子供たちは「すぐに音がでるんだね」「難しいけど、楽しい！」と言ってくれた。身近に和楽器があれば、きつともっと沢山の方に興味を持ってもらえるのだろう。

絹のまち岡谷市に和楽器の音色が響く…岡谷市民音楽祭は、そんな素敵な一日になった。



♪ 広げよう音楽の輪 ♪

私たちと一緒に
音楽あふれる街づくりを楽しみませんか？

★おかや音楽協会 会員募集★

おかや音楽協会に入会すると、こんないいことがあります！

たとえば…

- ・情報発信のお手伝い（コンサートの宣伝や会員募集など）
- ・音楽仲間同士の交流イベントへの参加及び企画も実現可
- ・音楽によるまちづくりの企画及びイベントの実現などなど…！

他にもたくさん企画していく予定です♪

あなたも音楽を通して、一緒に夢のまちづくりに参加しませんか？



♪個人会員 会費（年会費） 2,000 円

♪団体会員 会費（年会費） 3,000 円（20人未満の団体）
5,000 円（20人以上の団体）

♪賛助会員 会費（年会費） 一口 5,000 円

※4月1日から翌年3月31日までの1年間です。

♪入会のお申し込みは、申込書を事務局宛にお出してください。

※入会申込書は、おかや音楽協会 Web サイトからダウンロードできます。

岡谷音楽協会 Web サイト <http://okayaonkyo.com/>

♪会費は、現金納入または、下記の口座への振り込みをお願いいたします。

ゆうちょ銀行

口座記号番号 00530-6-100936

加入者名 おかや音楽協会

ゆうちょ銀行以外からの振込用口座番号

0五九（ゼロゴキュウ）店 (059) 当座 0100936

<問い合わせ先>

事務局 高木千奈美 (TEL/FAX 0266-22-1965) 〒394-0004 岡谷市神明町 4-4-1



Special Thanks

◆ 賛助会員のみなさま ◆

社会保険労務士法人 有賀事務所
 今井整形外科医院
 (株)笠原書店
 サツマ外科医院
 佐原音楽教室
 (株)信濃屋
 宗教法人 照光寺
 たんぼぼ学習塾
 (株)豊島屋
 (有)フキドウ
 (株)丸真製作所

(敬称略・アイウエオ順)

◆ 団体会員のみなさま ◆

アンサンブルMilou
 歌い人ごんべ
 岡谷合唱団
 岡谷熟年歌唱会
 岡谷マンドリンクラブ
 カノラ少年少女合唱団
 カノラータ・オーケストラ
 川岸女声コーラス
 混声合唱団 「岡谷せせらぎ会」
 女声コーラス しなの
 スズキ・メソード 岡谷諏訪支部
 ハーモニカ21
 ふらっとり
 やまびこ男声合唱団
 ラララ・カンガルー

(敬称略・アイウエオ順)

